

SPDR®ユーロ・ストックス 50 ETF (FEZ)

運 用 報 告 書
(全 体 版)

2022年9月30日に終了した計算期間

目 次

| | |
|------------------------------------|----|
| パフォーマンス要約に対する注記(未監査) | 1 |
| ファンドのパフォーマンスに関する経営陣による考察(未監査)..... | 2 |
| 投資一覧..... | 6 |
| 財務書類..... | 9 |
| 財務書類に対する注記..... | 13 |
| 独立した登録公認会計士事務所の報告書 | 26 |
| その他の情報(未監査)..... | 28 |

免責事項

この運用報告書は SPDR[®]インデックス・シェアズ・ファンズの 2022 年 9 月 30 日付 Annual Report の記載事項の翻訳に基づいており、日本における投資家の参照用に作成されたものです。投資家は、Annual Report およびこの運用報告書との間に齟齬が生じた場合、Annual Report が優先されることにご留意下さい。

また、Annual Report には SPDR[®]インデックス・シェアズ・ファンズを構成する全てのファンドの情報が掲載されていますが、この運用報告書には日本で販売されたファンドのうち特定の 1 つのファンドの情報のみが掲載されています(ただし、「財務書類に対する注記」および「その他の情報(未監査)」は、当該日本で販売された全てのファンドの情報が記載されています)。

(注) 本書に記載の「ドル」または「\$」は、別段の記載がある場合を除き米ドルを指します。

本書において、米ドルの円貨換算は、2023 年 4 月 21 日現在の株式会社三菱 UFJ 銀行の対顧客直物電信売買相場仲値(1 米ドル=134.32 円)によります。また、本書において文中および表中の数字は四捨五入された数値として表示されている場合があり、したがって合計として表示された数字はかかる数値の総和と必ずしも一致するとは限りません。

なお、米ドルの円貨換算は、原文には含まれておらず、監査報告その他本書面上の報告の対象たる財務書類を構成するものではありません。

パフォーマンス要約に対する注記(未監査)

本ファンドの純資産価額(以下「NAV」という。)でのトータル・リターンに関するパフォーマンス・チャート(市場価格に基づくトータル・リターンおよびそのベンチマーク指数)は、比較目的のためにのみ提供され、対象期間について示す。本ファンドの受益権 1 口当たり NAV は本ファンドの受益権 1 口の価値であり、資産合計額から負債合計額を差し引いた額を発行済受益権口数で除することによって算出される。NAV リターンは、本ファンドの NAV を基準とし、市場リターンは、本ファンドの受益権 1 口当たり市場価格を基準とする。市場リターンの計算に使われる市場価格は、本ファンドの NAV 計算時の本ファンドの受益権が上場されている取引所における最高の買い呼び値と最低の売り呼び値の中間値を用いて決定される。NAV および市場リターンは、配当とキャピタルゲインの分配金が、NAV により本ファンドに再投資されていることを前提としている。市場リターンには、流通市場での取引について支払われる売買委託手数料は含まれていない。売買委託手数料を含めたとしたら、市場リターンはこれより低くなるものと思われる。

インデックスは、特定の金融市場またはセクターについての統計的測定基準である。インデックスは、実際には証券ポートフォリオを有していないため、手数料または費用の控除額は反映されない。これに対して、本ファンドのパフォーマンスは、こうした控除額のマイナスの影響を受ける。インデックスのリターンは収入、損益、配当および他の収入の再投資全てを反映する。

ユーロ・ストックス 50®指数は、20 種あるユーロ・ストックス・スーパーセクター指数の構成銘柄のうち一部の最大手企業のパフォーマンスを表象するために設計された時価総額加重指数である。ユーロ・ストックス・スーパーセクター指数はユーロ・ストックス指数のサブセットである。ユーロ・ストックス指数は、広範でありながら流動性のあるストックス・ヨーロッパ 600 指数のサブセットである。ユーロ・ストックス指数はユーロ・ストックス・トータル・マーケット指数の浮動株時価総額の約 60%を占めており、ユーロ・ストックス・トータル・マーケット指数は表象された国の浮動株時価総額の約 95%をカバーしている。

SPDR ユーロ・ストックス 50 ETF**(SPDR EURO STOXX 50 ETF)****ファンドのパフォーマンスに関する経営陣による考察(未監査)**

SPDR ユーロ・ストックス 50 ETF(以下「本ファンド」という。)は、ユーロ・ストックス 50 指数のトータル・リターン・パフォーマンスに概ね対応する投資結果(手数料および費用控除前)を実現することを目指している。本ファンドのベンチマークは、ユーロ・ストックス 50 指数(以下「本インデックス」という。)である。

2022 年 9 月 30 日に終了した 12 カ月間(以下「報告期間」という。)、本ファンドのトータル・リターンは-28.73%、本インデックスのトータル・リターンは-28.92%であった。本ファンドと本インデックスのリターンは、配当およびその他の利益の再投資を反映している。本ファンドのパフォーマンスは、売買委託手数料および投資顧問費用を含め、本ファンドの運用費用を反映している。本インデックスは運用されているものではなく、そのリターンは、リターンに悪影響を及ぼすいかなる種類の手数料も費用も反映していない。運用報酬、キャッシュ・ドラッグ、証券組入比率の相違の累積的効果、および欧州連合(以下「EU」という。)還付請求を受けた影響が、本ファンドのパフォーマンスと本インデックスのパフォーマンスの相違の一因となり、報告期間における本ファンドのパフォーマンスの主要な原動力となった。

欧州では 2021 年度第 4 四半期に、COVID-19 感染拡大の第 4 波を抑え込むため複数の国において新たな移動制限が再び導入されたが、11 月の下落から回復していた株式市場は、同四半期にプラスリターンを上げた。半導体不足から工業生産は苦境に直面し、その影響は自動車セクターにおいて最も顕著であった。エネルギー価格の上昇がこの地域のインフレ率の上昇に拍車をかけ、インフレ率は 11 月に前年同月比 4.9%増にまで上昇し、1991 年 7 月以降では最も高い水準となった。ユーロ圏の製造業 PMI の速報値は 58.0 と、同セクターにおいて健全な景気拡大が進んでいることが示された。欧州では原油の約 25%および天然ガスの 40%をロシアから輸入しているため、2022 年度第 1 四半期に入ると、ロシア・ウクライナ戦争によりエネルギー供給に混乱が生じる事態が懸念された。インフレ率は 5.9%へ上方修正され、物価の上昇が消費者心理の重荷となった。インフレ率上昇の主な要因はエネルギー価格であったが、同戦争により混乱に拍車がかかれば事態はさらに悪化する可能性がある。株式は 2022 年度第 2 四半期に 14%下落した。市場は欧州中央銀行(以下「ECB」という。)による大幅利上げを織り込んでいたが、イタリア政府とドイツ政府が資金調達する際の金利差は著しく拡大した。消費者心理は急激に低下し、ロシアからのガス供給の減少により大幅な物価上昇が続いた。株式は、先行四半期の下落基調を引き継ぎ、2022 年度第 3 四半期も 10%下落した。インフレ率の上昇とそれに伴う経済成長見通しに関する懸念も同四半期の急落に拍車をかけた。ECB はタカ派姿勢をさらに強め、8 月のインフレ率は前年同月比 9.1%増に達し、今後数カ月のインフレ率も 10%を超えると予想されている。インフレを抑制するため、中央銀行は 9 月に政策金利を 0.75%引き上げ、2022 年末までにインフレ率を目標の 2%に収めるべく 10 月にさらに 0.75%、12 月も 0.5%の利上げが現時点で予想されている。9 月初め、ロシアは極めて重要なパイプラインであるノルドストリーム 1 を通じたガス供給を完全に停止し、エネルギー危機を引き起こした。消費者心理は急激に低下し、ロシアのガス供給が減少したため物価が大幅に上昇した。

本ファンドは報告期間中にデリバティブに投資していない。

財務書類に対する注記を参照

個別銘柄レベルでは、報告期間における本ファンドのパフォーマンスに最も貢献したものは、Iberdrola SA、Universal Music Group N.V.、Deutsche Boerse AGであった。当報告期間における本ファンドのパフォーマンスに最もマイナス寄与したものは、SAP SE、Siemens AG、および ASML Holding NVであった。

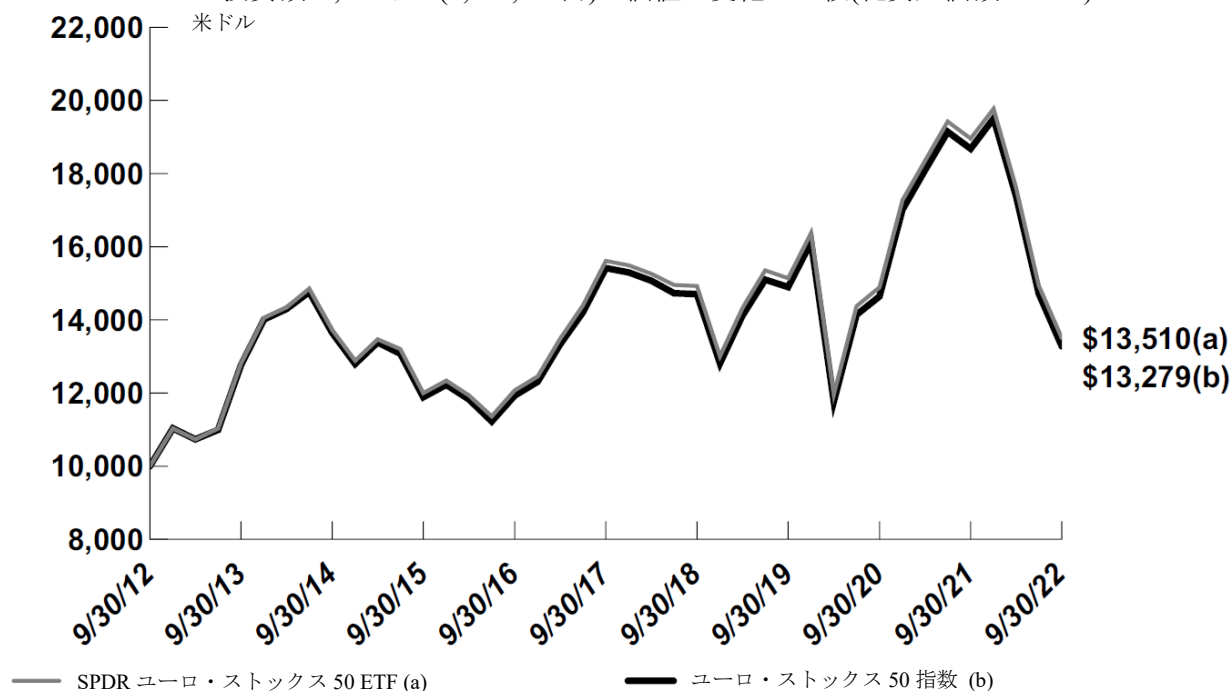
上記の見解は、報告期間のみを通じた本ファンドのポートフォリオ・マネージャーの見解を反映したもので、必ずしもアドバイザー全体の見解を反映しているものではない。この見解は、市場その他の状況により常に変更されることがあり、アドバイザーは、この見解を最新のものとする責任を負うものではない。この見解に投資助言として依拠することはできない。ファンドの投資判断は多くの要素に基づいているため、ファンドのために取引を行う意思を示すものとして、この見解に依拠することはできない。

SPDR ユーロ・ストックス 50 ETF

パフォーマンス要約(未監査)

| | 累積トータル・リターン | | | 平均年間トータル・リターン | | |
|------|-------------|----------|-----------------|---------------|----------|-----------------|
| | 純資産価額 | 市場価格 | ユーロ・ストックス 50 指数 | 純資産価額 | 市場価格 | ユーロ・ストックス 50 指数 |
| 1 年 | (28.73)% | (29.17)% | (28.92)% | (28.73)% | (29.17)% | (28.92)% |
| 5 年 | (13.47)% | (14.26)% | (13.87)% | (2.85)% | (3.03)% | (2.94)% |
| 10 年 | 35.10% | 33.49% | 32.79% | 3.05% | 2.93% | 2.88% |

投資額10,000ドル(1,343,200円)の価値の変化の比較(純資産価額ベース)



折れ線グラフは、累積トータル・リターンに基づく。

直近の目論見書の手数料および費用表に記載されているSPDRユーロ・ストックス50 ETFの総経費率は、0.29%である。2022年9月30日に終了した年度の総経費率については、財務ハイライトを参照のこと。記載されているパフォーマンスは、過去のパフォーマンスを示すものであり、将来の結果を保証するものではない。投資リターンおよび元本価値は変動するものであり、受益権を売却した際に、利益を得ることも、損失が生じることもある。現在のパフォーマンスが、以下に記載されたものを上回ることも、下回ることもある。直近の月末のパフォーマンスについては、<https://www.ssga.com/spdrs>をご覧ください。リターンは、受益者が本ファンドの分配金または本ファンドの受益権の償還もしくは売却に関して支払う租税の控除額は反映していない。詳細については、1ページの「パフォーマンス要約に対する注記」を参照。

SPDR ユーロ・ストックス 50 ETF
ポートフォリオの統計(未監査)

| 内容 | 純資産に対する百分比 (%) |
|-------------------------------------|-------------------|
| ASML Holding NV | 7.0% |
| LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE | 6.4 |
| Linde PLC | 5.5 |
| TotalEnergies SE | 5.1 |
| SAP SE | 3.7 |
| Sanofi | 3.6 |
| L'Oreal SA | 3.2 |
| Siemens AG | 3.0 |
| Schneider Electric SE | 2.7 |
| Allianz SE | 2.6 |
| 合計 | 42.8% |

(保有額の上位10社は変動する可能性があり、本ファンドが特定の会社に投資し続けるという保証はない。)

SPDRユーロ・ストックス50 ETF

投資一覧

2022年9月30日

| 銘柄 | 株式数 | 価額 |
|---|-----------|---------------|
| 普通株式 - 99.8% | | |
| ベルギー - 1.7% | | |
| Anheuser-Busch InBev SA/NV | 466,269 | \$ 21,352,195 |
| 中国 - 1.9% | | |
| Prosus NV (a) | 450,420 | 23,814,469 |
| フィンランド - 2.3% | | |
| Nokia Oyj | 2,815,570 | 12,192,943 |
| Nordea Bank Abp | 1,960,178 | 16,898,533 |
| | | 29,091,476 |
| フランス - 37.3% | | |
| Air Liquide SA | 273,017 | 31,442,719 |
| Airbus SE | 304,849 | 26,546,576 |
| AXA SA | 1,030,463 | 22,688,351 |
| BNP Paribas SA | 593,686 | 25,360,857 |
| Danone SA | 333,629 | 15,874,597 |
| EssilorLuxottica SA | 158,431 | 21,783,287 |
| Hermes International | 18,381 | 21,914,448 |
| Kering SA | 37,972 | 17,057,720 |
| L'Oreal SA | 127,026 | 41,096,636 |
| LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE | 136,187 | 81,436,857 |
| Pernod Ricard SA | 105,025 | 19,430,345 |
| Safran SA | 197,910 | 18,226,892 |
| Sanofi | 599,632 | 46,054,459 |
| TotalEnergies SE | 1,366,564 | 64,628,352 |
| Vinci SA | 294,760 | 24,016,299 |
| | | 477,558,395 |
| ドイツ - 25.1% | | |
| adidas AG | 87,564 | 10,197,770 |
| Allianz SE | 213,100 | 33,777,911 |
| BASF SE | 479,250 | 18,592,086 |
| Bayer AG | 512,622 | 23,811,339 |
| Bayerische Motoren Werke AG | 167,501 | 11,484,821 |
| Deutsche Boerse AG | 99,165 | 16,344,977 |
| Deutsche Post AG | 514,158 | 15,672,462 |
| Deutsche Telekom AG | 1,808,256 | 30,986,335 |
| Infineon Technologies AG | 681,435 | 15,160,461 |
| Mercedes-Benz Group AG | 409,818 | 21,017,378 |
| Muenchener Rueckversicherungs-Gesellschaft AG in Muenchen | 73,106 | 17,725,523 |
| SAP SE | 566,061 | 46,648,032 |
| Siemens AG | 388,519 | 38,517,989 |
| Volkswagen AG Preference Shares | 107,605 | 13,324,482 |
| Vonovia SE | 373,256 | 8,121,312 |
| | | 321,382,878 |
| アイルランド - 1.8% | | |
| CRH PLC (b) | 403,965 | 13,087,261 |
| Flutter Entertainment PLC (a) | 91,780 | 10,160,085 |
| | | 23,247,346 |
| イタリア - 3.6% | | |
| Enel SpA | 4,046,910 | 16,746,277 |
| Eni SpA | 1,291,819 | 13,806,934 |
| Intesa Sanpaolo SpA ADR | 9,635,456 | 16,073,363 |
| | | 46,626,574 |
| オランダ - 10.9% | | |

財務書類に対する注記を参照

| | | FEZ |
|--|------------|-------------------------|
| Adyen NV (a)(c) | 14,904 | 19,007,191 |
| ASML Holding NV | 212,071 | 90,082,698 |
| ING Groep NV | 1,965,775 | 17,058,479 |
| Koninklijke Ahold Delhaize NV | 518,309 | 13,270,341 |
| | | <u>139,418,709</u> |
| スペイン - 5.9% | | |
| Banco Bilbao Vizcaya Argentaria SA | 3,153,377 | 14,273,672 |
| Banco Santander SA | 8,763,186 | 20,582,185 |
| Iberdrola SA | 3,031,124 | 28,453,172 |
| Industria de Diseno Textil SA | 579,980 | 12,090,812 |
| | | <u>75,399,841</u> |
| 英国 - 5.5% | | |
| Linde PLC | 259,347 | 70,936,126 |
| 米国 - 3.8% | | |
| Schneider Electric SE | 298,000 | 34,138,952 |
| Stellantis NV | 1,182,197 | 14,212,681 |
| | | <u>48,351,633</u> |
| 普通株式合計 | | |
| (Cost \$1,786,312,980) | | <u>1,277,179,642</u> |
| 短期投資 - 0.9% | | |
| State Street Institutional Liquid Reserves Fund, Premier Class 3.01% | | |
| (d)(e) | 922,874 | 923,059 |
| State Street Navigator Securities Lending Portfolio II (f)(g) | 11,059,238 | 11,059,238 |
| 短期投資合計 | | |
| (Cost \$11,982,169) | | <u>11,982,297</u> |
| 投資合計 - 100.7% | | |
| (Cost \$1,798,295,149) | | <u>1,289,161,939</u> |
| その他の資産を超過する負債 - (0.7)% | | <u>(9,551,406)</u> |
| 純資産 - 100.0% | | <u>\$ 1,279,610,533</u> |

(a) 無配証券

(b) 2022年9月30日時点で、有価証券の全部または一部が貸し付けられている。

(c) 1933年証券法ルール144A(その後の改正を含む。)に従い購入した証券。これらの証券(2022年9月30日現在純資産の1.5%)は、流動性があるものと考えられており、登録を免除された取引において、通常は適格機関投資家たる買主に転売される。

(d) 本ファンドは、SSGA Funds Management, Inc.が運用するマネー・マーケット・ファンドに投資した。2022年9月30日に終了した期間のそれら取引に関連する額は、後掲の関係会社表で示される

(e) 記載利率は2022年9月30日における7日間の年間利回りである。

(f) 本ファンドは関係会社に投資した。2022年9月30日に終了した期間のそれら取引に関連する額は、後掲の関係会社表で示される。

(g) 貸付証券の現金担保の投資

ADR 米国預託証券

以下の表は、公正価値ヒエラルキーに従った2022年9月30日現在における本ファンドの投資価値の概要である。

| 項目 | レベル1 - 市場 価格 | レベル2 - その他の 重要な 観察可能な インプット | レベル3 - 重要な 観察不能な インプット | 合計 |
|------|--------------------|---|---------------------------------|------------------|
| 資産: | | | | |
| 投資: | | | | |
| 普通株式 | \$ 1,277,179,642 | \$ — | \$ — | \$ 1,277,179,642 |
| 短期投資 | 11,982,297 | — | — | 11,982,297 |
| 投資合計 | \$ 1,289,161,939 | \$ — | \$ — | \$ 1,289,161,939 |

2022年9月30日現在のセクター別内訳

| | 純資産に対する百分比(%) |
|---------------|---------------|
| 一般消費財・サービス | 18.5% |
| 金融 | 15.7 |
| 情報技術 | 14.3 |
| 資本財・サービス | 12.3 |
| 素材 | 10.5 |
| 生活必需品 | 8.7 |
| ヘルスケア | 7.2 |
| エネルギー | 6.1 |
| 公益事業 | 3.5 |
| 通信サービス | 2.4 |
| 不動産 | 0.6 |
| 短期投資 | 0.9 |
| その他の資産を超過する負債 | (0.7) |
| 合計 | 100.0% |

(本ファンドの産業内訳は、純資産に対する百分比として表示されており、時間の経過とともに変動する可能性がある。)

関係会社表

| | 保有株式数 (2021年 9月30日) | 評価額 (2021年9月 30日) | 購入原価 | 証券売却手 取金 | 実現利益 (損失) | 未実現増価 /減価の変 動額 | 保有株式数 (2022年 9月30日) | 評価額 (2022年9月 30日) | 受取配当金 |
|--|---------------------------|-------------------------|----------------|----------------|--------------|----------------------|---------------------------|-------------------------|-----------|
| State Street Institutional Liquid Reserves Fund, Premier Class | 152,090 | \$ 152,121 | \$ 81,347,209 | \$ 80,576,366 | \$ (33) | \$ 128 | 922,874 | \$ 923,059 | \$ 7,491 |
| State Street Navigator Securities Lending Portfolio II | — | — | 206,550,275 | 195,491,037 | — | — | 11,059,238 | 11,059,238 | 67,144 |
| 合計 | | \$ 152,121 | \$ 287,897,484 | \$ 276,067,403 | \$ (33) | \$ 128 | \$ 11,982,297 | \$ 11,982,297 | \$ 74,635 |

財務書類に対する注記を参照

財務書類

貸借対照表

2022年9月30日

| | SPDRユーロ・ストックス 50 ETF |
|------------------------------------|-------------------------|
| 資 産 | |
| 関係を有していない発行体への投資(評価額) | \$ 1,277,179,642 |
| 関係を有する発行体への投資(評価額) | 11,982,297 |
| 投資総額 | 1,289,161,939 |
| 外国通貨(評価額) | 1,065,863 |
| ブローカーに対する現金(純額) | — |
| 現金 | — |
| 売却投資債権 | — |
| 未収配当金—関係を有していない発行体 | 853,701 |
| 未収配当金—関係を有する発行体 | 2,234 |
| 有価証券貸付収益未収金 — 関係を有していない発行体 | 626 |
| 有価証券貸付収益未収金 — 関係を有する発行体 | 4,405 |
| アドバイザーからの未収金 | — |
| 未収還付外国税額 | 5,686,948 |
| その他の未収金 | 21,910 |
| 資産合計 | 1,296,797,626 |
| 負 債 | |
| 保管会社への債務 | — |
| 借受証券返還債務 | 11,059,238 |
| 証券買入債務 | — |
| ブローカーに対する債務—未決済の先物契約にかかる累積変動証拠金 | — |
| 未払繰延外国税額 | — |
| 未払税額 | 5,728,570 |
| 未払投資顧問報酬 | 313,559 |
| 未払受託者報酬および費用 | 1,377 |
| 未払費用およびその他の債務 | 84,349 |
| 負債合計 | 17,187,093 |
| 純資産 | \$ 1,279,610,533 |
| 純資産の内訳: | |
| 払込資本 | \$ 2,492,748,400 |
| 配当可能利益(損失)合計 | (1,213,137,867) |
| 純資産 | \$ 1,279,610,533 |
| 受益権1口当たり純資産価額 | |
| 受益権1口当たり純資産価額 | \$ 31.10 |
| 発行済受益権(授権額の上限なし、額面価額0.01ドル(1.34円)) | 41,150,967 |
| 投資費用: | |
| 関係を有していない発行体への投資 | \$ 1,786,312,980 |
| 関係を有する発行体への投資 | 11,982,169 |
| 投資費用総額 | \$ 1,798,295,149 |
| 外国通貨(取得価額) | \$ 1,073,219 |
| *貸付証券への投資額を含む(評価額) | \$ 10,823,482 |
| **繰延外国税を含む | \$ — |

財務書類に対する注記を参照

損益計算書

2022年9月30日終了年度

| | SPDRユーロ・ストックス 50 ETF |
|-------------------------|-------------------------|
| 投資利益 | |
| 受取配当金 — 関係を有していない発行体 | \$ 69,977,536 |
| 受取配当金 — 関係を有する発行体 | 7,491 |
| 受取配当金 — 非現金取引 | — |
| 非関係会社への証券貸付による収益 | 38,703 |
| 関係会社への証券貸付による収益 | 67,144 |
| EU還付請求 | 11,663,854 |
| 控除:税金 | (5,728,570) |
| 源泉徴収外国税 | (8,040,538) |
| 投資利益(損失)合計 | 67,985,620 |
| 費用 | |
| 投資顧問報酬 | 5,710,633 |
| 受託者の報酬および費用 | 24,092 |
| 専門家の報酬および費用 | 45,500 |
| 雑費用 | 40,096 |
| 費用合計 | 5,820,321 |
| 純投資利益(損失) | \$ 62,165,299 |
| 実現および未実現の利益(損失) | |
| 正味実現利益(損失)の内訳: | |
| 投資 — 関係を有していない発行体 | (58,576,310) |
| 投資 — 関係を有する発行体 | (33) |
| 現物償還 — 関係を有していない発行体 | 122,716,976 |
| 外国通貨取引 | (2,081,837) |
| 先物取引 | — |
| 未実現の利益(損失) | 62,058,796 |
| 未実現増価(減価)の純変動額の内訳: | |
| 投資 — 関係を有していない発行体 | (712,291,140) |
| 投資 — 関係を有する発行体 | 128 |
| 外国通貨換算 | (1,185,479) |
| 先物取引 | — |
| 未実現増価(減価)の純変動額 | (713,476,491) |
| 正味実現および未実現利益(損失) | (651,417,695) |
| 運用による純資産の純増加(減少) | \$ (589,252,396) |
| * 外国のキャピタルゲイン税を含む | \$ — |
| ** 繰延外国税を含む | \$ — |

純資産変動計算書

| | SPDRユーロ・ストックス50 ETF | |
|-----------------------------|-------------------------|-------------------------|
| | 年度終了日 2022/9/30 | 年度終了日 2021/9/30 |
| 運用による純資産の増加(減少): | | |
| 純投資利益(損失) | \$ 62,165,299 | \$ 54,089,580 |
| 正味実現利益(損失) | 62,058,796 | 52,624,374 |
| 未実現増価(減価)の純変動額 | (713,476,491) | 327,221,075 |
| 運用による純資産の純増加(減少) | (589,252,396) | 433,935,029 |
| 正味平準化貸記額および借記額 | (3,663,100) | 5,984,211 |
| 受益者への配当 | (73,669,991) | (49,313,836) |
| 実質持分取引による内訳: | | |
| 受益権売却手取金 | 196,410,776 | 846,856,477 |
| 償還受益権費用 | (876,206,574) | (356,421,711) |
| 正味利益平準化 | 3,663,100 | (5,984,211) |
| その他資本 | 2,359 | — |
| 実質持分取引による純資産の純増加(減少) | (676,130,339) | 484,450,555 |
| アドバイザーからの拠出(注記4) | — | — |
| 期間中の純資産の純増加(減少) | (1,342,715,826) | 875,055,959 |
| 期首における純資産 | 2,622,326,359 | 1,747,270,400 |
| 期末における純資産 | \$ 1,279,610,533 | \$ 2,622,326,359 |
| 実質持分: | | |
| 売却受益権数 | 5,450,000 | 17,800,000 |
| 償還受益権数 | (22,000,000) | (8,100,000) |
| 受益権取引による純増加(減少) | (16,550,000) | 9,700,000 |

財務ハイライト

各期間中の発行済受益権1口当たりの要約データ

| | SPDRユーロ・ストックス50 ETF | | | | |
|-----------------------|---------------------|--------------------|--------------------|------------------------|------------------------|
| | 年度終了日 2022/9/30 | 年度終了日 2021/9/30 | 年度終了日 2020/9/30 | 年度終了日 2019/9/30 (a) | 年度終了日 2018/9/30 (a) |
| 期首純資産額 | \$ 45.45 | \$ 36.40 | \$ 37.79 | \$ 38.35 | \$ 41.30 |
| 投資活動による利益(損失) | | | | | |
| 純投資利益(損失) (b) | 1.30 | 1.06 | 0.81 | 1.02 | 1.17 |
| 正味実現および未実現利益(損失) (c) | (13.98) | 8.77 | (1.46) | (0.49) | (2.89) |
| 投資活動による合計 | (12.68) | 9.83 | (0.65) | 0.53 | (1.72) |
| 正味平準化貸記額および借記額 (b) | (0.08) | 0.12 | (0.00)(d) | (0.01) | (0.08) |
| その他資本 | 0.00(d) | — | — | — | — |
| 受益者への分配金原資の内訳: | | | | | |
| 純投資利益 | (1.59) | (0.90) | (0.74) | (1.08) | (1.15) |
| 期末純資産額 | \$ 31.10 | \$ 45.45 | \$ 36.40 | \$ 37.79 | \$ 38.35 |
| トータル・リターン (e) | (28.73)% | 27.32% | (1.65)% | 1.43% | (4.40)% |
| 比率および補足データ: | | | | | |
| 期末純資産(単位: 1,000) | \$ 1,279,611 | \$ 2,622,326 | \$ 1,747,270 | \$ 2,050,307 | \$ 3,108,379 |
| 平均純資産に対する比率: | | | | | |
| 費用合計 | 0.30% | 0.29% | 0.29% | 0.29% | 0.29% |
| 純投資利益(損失) | 3.16% | 2.39% | 2.21% | 2.80% | 2.89% |
| ポートフォリオ・ターンオーバー比率 (f) | 8% | 11% | 9% | 6% | 7% |

(a) 本ファンドは、2020年9月30日に終了した年度から、アーンスト・アンド・ヤング・エルエルピーが監査を行った。過年度は別の独立登録公認会計事務所が監査を行った。

(b) 受益権1口当たりの数字は発行済平均受益権数を用いて計算されており、当年度の受益権1口当たりのデータをより適切に表示している。

(c) 発行済受益権について本項目に示された額は、本ファンドの市場価格の変動に関連した本ファンドの受益権の売却および買戻しの時期により、当会計期間の有価証券の損益総額の変動と一致していないことがある。

(d) 金額は受益権1口当たり0.005ドル(0.672円)未満である。

(e) トータル・リターンは、受益権が各報告期間の初日に純資産価額で購入され、末日に純資産価額で売却されたという前提で計算されている。この計算の目的上、分配金は、各分配金の支払日に受益権1口当たり純資産額で再投資されることを前提としている。1年未満の期間についてのトータル・リターンは年率換算されない。売買委託手数料はこの計算には含まれていない。

(f) ポートフォリオ・ターンオーバー比率は、現物による設定または償還により受け渡された証券を除外している。

SPDRインデックス・シェアズ・ファンズ

財務書類に対する注記

2022年9月30日

1. 設 立

SPDRインデックス・シェアズ・ファンズ(以下「本トラスト」という。)は、1940年投資会社法(改正を含む。以下「1940年法」という。)に基づき登録されたマサチューセッツの事業トラストで、オープンエンド運用投資会社である。

2022年9月30日現在、本トラストは26のシリーズから成り、そのそれぞれが本トラストの別個の受益権を表象する。本トラストの信託宣言において、額面金額0.01ドル(1.34円)の受益権を無制限に発行する権限を本トラストの受託者会(以下「受託者会」という。)に付与することが認められている。本運用報告書の財務書類は、以下のシリーズ¹(以下それぞれ、また総称して「本ファンド」という。)に関するものである。

SPDRユーロ・ストックス50 ETF

各ファンドは、1940年法上の「分散型投資会社」に分類される。ただし、それぞれが非分散型投資会社であるSPDR S&Pアジア・パシフィック新興国株式ETFを除く。

本トラストの組織関連書類に基づき、本トラストの役員および受託者は、本トラストに対する職務の遂行に起因する一定の責任について補償される。さらには、通常の業務過程において、本トラストは、一般的な補償条項を定めた契約をサービス提供者と締結する。本トラストに対してなされる可能性のある未発生¹の将来の請求を含むため、こうした取り決めに基づき本トラストが最大限負うことのあるリスクは不明である。

2. 重要な会計方針の概要

以下は、本トラストが財務書類を作成するにあたって従った重要な会計方針の概要である。

米国で一般に認められた会計原則(以下「米国GAAP」という。)に従って財務書類を作成するには、経営陣は、財務書類における計上額および開示内容に影響する見積りおよび仮定を行わなければならない。実際の結果はこうした見積りと相違することがあり得る。本ファンドは、米国GAAP上の投資会社に該当し、投資会社に適用のある会計および報告に関するガイダンスに準拠している。

証券の評価

各本ファンドの投資は、ニューヨーク株式取引所(以下「NYSE」という。)が開いている日は毎日公正価値で評価され、また財務報告上、報告期間の終了日がNYSEが開いていない日の場合、報告日現在で公正価値で

¹ 原文の Annual Report には 16 のファンドが記載されているが、本ファンド以外のファンド名は省略する。

評価される。通常、公正価値とは、測定日において市場参加者間で秩序ある取引が行われた場合に、あるファンドが資産の売却によって受け取るであろう価格または負債の移転のために支払うであろう価格、と定義されている。公正価値での評価は、その本質から証券を現時点で売却した場合における評価の誠実な見積りであり、実際の市場価格を反映していない可能性がある。各本ファンドの投資は、オーバーサイト・コミッティー(本書において「監視委員会」という。)が策定し、受託者会が承認した方針および手続に従って評価される。監視委員会は、本ファンドのために、投資の評価方法を監視する。受託者会は、投資の公正価値の決定に対する監視に責任を負う。

各本ファンドの投資を評価するために用いる、主要な投資カテゴリー別の評価方法は、以下のとおりである。

- ・ 市場相場が容易に入手できる公認の証券取引所で取引される株式への投資(上場投資信託である登録投資会社を含む。)は、それらが取引されている発行市場または取引所における直近の売値または公式の終値(のいずれか該当する方)で評価される。公認の取引所で取引されている株式への投資であって評価日に売買がなかったものは、直近公表売値または公正価値で評価される。
- ・ 新株予約権およびワラントは、独立価格情報提供事業者またはブローカーから入手した最終報告売買価格で評価日に評価される。独立価格情報提供事業者およびブローカーのいずれからでも、当該価格が入手できないときは、受託者会が承認した評価方針および手続に従って、当該新株予約権およびワラントの本源的価値に基づいて評価を行う。
- ・ 公認の証券取引所で取引されていない、登録投資会社(マネー・マーケット・ファンドを含む。)その他プール型投資ビークルの小口化された持分への投資は、その日に公表された1受益権または1投資単位当たりの純資産価額(以下「NAV」という。)で評価される。
- ・ 取引所で取引される先物取引は、最も活発に取引される発行市場の決済価格で評価される。公認の取引所で取引される先物取引であって評価日に売買がなかったものは、独立価格情報提供事業者もしくはブローカーから報告を受けた直近の売買価格または公正価値で評価される。

価格もしくは相場が容易に入手できない場合またはこれらの評価方法を適用した結果として得られた価格がその投資の公正価値を表していないと考えられる場合には、当該投資の公正価値は、受託者会が承認した評価方針および手続に従って監視委員会が誠実に決定する。

公正価値評価によって、本ファンドのNAVを計算するために用いられる価格と、当該本ファンドの対象ベンチマークが採用する価格に差異が生じる可能性がある。本ファンドの投資価値を決定するために多様なインプットが用いられている。

本ファンドは、その資産および負債の公正価値を評価する上で評価技法に対するインプットを優先順位付けした3つのレベルで構成される公正価値ヒエラルキーを用いており、活発な市場における同一資産または負債の容易に入手可能な調整前市場価格(レベル1測定)を最高順位とし、時価が容易に入手可能ではないか、

または時価が信頼できない場合において、観察不能なインプット(レベル3測定)を最低順位として、取り扱うというものである。ある投資について決定された価値が公正価値ヒエラルキー中のどの分類に属するかは、当該投資の価格設定の透明性に基づいて決まるものであって、その分類は、必ずしも、その金融商品に投資することに伴うリスクを示唆するものではない。

公正価値ヒエラルキーの3つのレベルは、以下のとおりである。

- ・ レベル1 — 同一の資産または負債の活発な市場における調整前市場価格。
- ・ レベル2 — レベル1に含まれる市場価格以外のインプットで、資産または負債について直接的または間接的に観測可能であるもの。これには、活発な市場における類似の資産もしくは負債の市場価格、活発でないと考えられる市場における同一もしくは類似の資産もしくは負債の市場価格、資産または負債について観測可能である市場価格以外のインプット(為替レート、融資条件、金利、イールドカーブ、ボラティリティ、期限前償還率、損失規模、信用リスクおよびデフォルト率等)またはその他の市場に裏付けられたインプットが含まれる。
- ・ レベル3 — 投資の公正価値の決定に利用される監視委員会の定める前提を含む、資産または負債についての観測不能なインプット。

2022年9月30日現在における公正価値ヒエラルキーに従った各本ファンドの投資価値は、各本ファンドのそれぞれの投資一覧で開示されている。

投資取引および収益認識

投資取引は、財務報告の目的上、取引日に計上される。投資の売却または処分および外国為替取引により実現した損益(該当する場合)は、個別原価法で計上される。

受取配当金およびキャピタルゲインの分配(該当する場合)は、外国源泉徴収税(もしあれば)を控除の上、配当または分配落ち日、または情報が入手可能となった時に認識される。株式による非現金配当(もしあれば)の受け取りは、受取配当金として公正価値で計上される。本ファンドが受け取った分配金には、マネジメントの見積りによる資本の返還が含まれる場合がある。かかる金額は、投資取得原価の減額として計上するか、キャピタルゲインに再分類する。

本ファンドの中には、米国不動産投資信託(以下「US REIT」という。)に投資しているものがある。US REITは、その分配金の税務上の性質を毎年決定し、分配金の一部を資本の返還またはキャピタルゲインとみなすことがある。本ファンドの方針としては、REITによる分配金は全て、いったんは受取配当金として計上した上でその一部を年度末に資本の返還またはキャピタルゲインの分配として再分類する。これは、当該REITによって提供された情報および/または当該再分類のうち実際の情報がまだ報告されていないものに関するSSGAファンズ・マネジメント・インク(以下「アドバイザー」または「SSGA FM」という。)の推定に基づいて行われる。

費用

特定の本ファンドについてのものであることが直接認識できる一定の費用は、本トラスト内の当該本ファンドの負担となる。特定の本ファンドに帰属させることのできないその他の費用は、費用の性質および種類ならびに本トラスト内の本ファンドの関連する純資産を斟酌した上で、衡平と考えられる方法により配分される。

外国通貨換算

本ファンドの会計記録は米ドルで行われている。外国通貨ならびに外貨建ての投資有価証券ならびにその他の資産および負債は、期末時点の為替レートを使用して米ドルに換算されている。外貨建ての有価証券の売買、収益の受領および費用の支払いは、それぞれの取引日の実勢為替レートで米ドルに換算される。

為替レートの変動の投資に対する影響は、投資有価証券の実現および未実現の純利益(損失)に含まれる。実現および未実現の利益(損失)を生じさせるその他の外国通貨取引は、別途開示される。

外国税

本ファンドは、収益、株式配当、投資にかかる実現および未実現のキャピタルゲインまたは一定の外国為替取引に対して外国税の賦課を受ける可能性がある(なお、かかる税の一部は返還請求が可能な場合がある)。外国税は、本ファンドが投資を行う外国の管轄地において適用される外国の税制および税率についてのSSGA FMの理解に従って計上される。これらの外国税(もしあれば)は、本ファンドが支払いを行い、本ファンドの損益計算書に反映される。2022年9月30日時点の未払外国税または繰延外国税(もしあれば)は、本ファンドの貸借対照表で開示される。

複数の訴訟の結果を受け、欧州連合(以下「EU」という。)の特定の国における特定の本ファンドは、当該国で稼得した配当金に対し以前源泉徴収された税金について追加の還付請求の申立てを行った。これらの追加申立ては、EU域内の現地管轄税務当局による各種行政手続およびいくつかの関連司法手続の対象となる。当該EU還付請求で認識された収入は損益計算書に反映され、その還付金額が投資利益合計の5%を超える場合は「EU還付請求」として個別表示される。当該収入の最終的な解決、当該EU還付請求を受ける可能性、および将来の支払い時期に関して不確実性が存する場合、その金額が財務書類に反映されることはない。

米国所得税法上、本ファンドが受けるEU還付請求により、本ファンドの受益者が自身の個人所得税申告書において税額控除として使用できる外国税額がある場合はその金額が減額される。本ファンドが当会計年度に受けるEU還付請求の金額が外国源泉徴収税の納付額を超え、かつ、本ファンドが以前に外国税額控除を受益者に付与していた場合、本ファンドは、本ファンドの受益者の代わりにその関連租税債務を支払うために、米国内国歳入庁(IRS)と最終合意を締結することになる。

2022年9月30日に終了した年度において、SPDRユーロ・ストックス50 ETFは、11,663,854ドル(1,566,688,869

円)(5,728,570ドル(769,461,522円)の予定納税額および45,500ドル(6,111,560円)の専門家報酬控除後)のEU還付請求を受けたため、同金額を損益計算書に表示した。

平準化

特定の本ファンドは、「平準化」として知られる会計実務に従っており、これにより本ファンドの受益権の売却手取金および再取得費用の一部(取引日の分配可能な受益権1口当たり純投資利益の額に相当する。)は、未分配の純投資利益に貸記または借記される。そのため、受益権1口当たりの未分配の純投資利益は、本ファンドの受益権の売却または再取得による影響を受けない。平準化に関連する額は、純資産変動計算書で確認することができる。

以下の本ファンドは、2022年9月30日に終了した年度中に平準化を利用した。

SPDRユーロ・ストックス50 ETF

分配

以下の本ファンドは、四半期毎に純投資利益(もしあれば)を原資とする受益者に対する配当を宣言し、分配する。

SPDRユーロ・ストックス50 ETF

正味実現キャピタルゲイン(もしあれば)は、毎年分配される。分配の宣言および支払いについては、指数トラッキングを改善し、または1986年内国歳入法典(改正を含む。)(以下「内国歳入法典」という。)で規定される分配要件を遵守する目的で、より多くの頻度で他のいずれの時期においても実行することができる。分配される収益およびキャピタルゲインの額および性質は、適用される税制に従って決定され、米国GAAPの目的上認識される純投資利益および実現利益とは相違する可能性がある。

3. デリバティブ金融商品

先物取引

本ファンドは、本ファンドの目的を達成するために、先物取引を行う場合がある。先物取引とは、標準化された取引所取引であり、一定の金融商品を定められた価格で売買することを先日付で約定するものをいう。先物取引の約定時に、本ファンドは、ブローカーに対して、清算機関が求める当初預託証拠金の額に相当する額の証拠金(現金または有価証券)を預託しなければならない。預託有価証券(もしあれば)は投資一覧で指定され、預託現金(もしあれば)は貸借対照表上のブローカーに対する現金(純額)に含まれる。その後の支払いは、契約価額(累積)、為替および/またはその他の取引手数料の日々の変動に応じ、本ファンドが支払うか、または支払いを受領する。当該支払いの累計額は、相当額が未実現損益と相殺された上で未収または未払いの変動証拠金として計上される。本ファンドは、当該契約が終了した時に実現損益の認識を行う。

契約期間中に、原商品の市場金利または価値に不利な変動が生じたことに起因して先物取引価格が下落した場合、または取引相手が契約に基づき履行しなかった場合、損失が生じる可能性がある。また、先物取引の利用には、先物取引の価格変動が当該取引の原資産の価格変動と関連しないというリスクも伴う。

4. 手数料および関係会社との取引

投資顧問報酬

本トラストは、本ファンドに代わり、SSGA FMと投資顧問契約を締結している。本ファンドに対するそのアドバイザー・サービス、提供されるファシリティ、およびアドバイザーが負担する費用のために、各本ファンドは、各本ファンドの日次の平均純資産額に対し以下の表で示される割合に基づいて日々発生して毎月支払われる報酬(以下「運用および投資顧問報酬」という。)をアドバイザーに支払う。

| | 年間割合 |
|-----------------------|-------|
| SPDR ユーロ・ストックス 50 ETF | 0.29% |

アドバイザーは、時に、自身の運用報酬の全部または一部を放棄する場合がある。アドバイザーは、2023年1月31日まで、各本ファンドに関して取得ファンドの全ての報酬および費用(取得ファンドにおける現金管理のために保有されるもの(もしあれば)を除く。)に相当する金額の、自身の運用報酬の一部の放棄、および/または費用の払戻しについて契約上同意している。この権利放棄および/または払戻しにおいては、放棄され、または払い戻された金額をアドバイザーが回収することは規定されていない。この権利放棄および/または払戻しは、本ファンドの受託者会の承認がない限り、2023年1月31日より前に終了することはできない。

アドバイザーは、各本ファンドの全ての費用を支払うが、運用報酬、委託売買手数料、租税、利息、1940年法で定義される本トラストの「利害関係者」に該当しない本トラストの受託者(以下「独立受託者」という。)の報酬および費用(受託者の弁護士の報酬を含む。)、訴訟費用、取得ファンドの報酬ならびに費用その他の特別費は支払わない。

アドミニストレーター、保管会社、サブ・アドミニストレーターおよび名義書換代理人

SSGA FM はアドミニストレーターを務めており、アドバイザーの関係会社であるステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー(State Street Bank and Trust Company)(以下「ステート・ストリート」という。)が、保管会社、サブ・アドミニストレーターおよび名義書換代理人を務めている。ステート・ストリートは、保管会社、サブ・アドミニストレーターおよび名義書換代理人としてのサービスに対する報酬をアドバイザーから受け取る。

販売業者

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・ファンズ・ディストリビューターズ・エルエルシー(State Street Global Advisors Funds Distributors, LLC)(以下「SSGA FD」または「販売業者」という。)は、アドバイザーの関係会社で、本トラストの販売業者を務める。

関係会社とのその他の取引 - 証券貸付

ステート・ストリート(本ファンドの関係会社)は、2017年1月6日付修正・訂正済み証券貸付許可基本契約書(変更を含む。)に従って本ファンドの証券貸付代理人を務める。

2022年1月1日より、ステート・ストリートが現金担保の投資または手数料収入(借入人に支払われる手数料割り戻し控除後)に関して収受した純収入は、以下のとおり支払われている。暦年ベースの年初来純収入がSPDR ETF全体の特定の閾値を下回る場合、各本ファンドは当該純収入の85%を留保し、当該純収入の15%はステート・ストリートへ支払われる。暦年ベースの年初来純収入が特定の閾値を上回る場合は上回った日の翌営業日より、各本ファンドは当該純収入の90%を留保し、当該純収入の10%はステート・ストリートへ支払われる。2022年1月1日より前は、純収入の85%が本ファンドへ、15%がステート・ストリートへ支払われた。

また、貸付業務の現金担保は、SSGA FM が投資アドバイザーを務めるステート・ストリート・ナビゲーター・セキュリティーズ・レンディング・ポートフォリオ II(State Street Navigator Securities Lending Portfolio II)(関係マネー・マーケット・ファンド)に投資される。証券貸付の追加情報については、注記 9 を参照されたい。

関係会社とのその他の取引

本ファンドは、関係事業体(ステート・ストリート・コーポレーションが発行した証券を含む。)、関係性を有するファンド、または本ファンドがその議決権付証券もしくは発行済み株式の 5%超を所有することにより関係会社とみなされる事業体に投資することができる。2022 年 9 月 30 日に終了した年度のそれらの取引に関係する額は、投資一覧で開示される。

保管会社への債務

特定の状況において、本ファンドは、費用の支払い、資本取引、証券の取引、投資活動またはデリバティブ取引のために保管会社に当座借越を行う場合がある。保管会社への債務の額(もしあれば)は、本ファンドの関係会社であるステート・ストリート(保管会社)からの当座借越金を反映している。

5. 受託者の報酬

独立受託者および利害関係のある非管理受託者 1 名の報酬および費用は、本ファンドから直接支払われる。独立受託者は、会議への出席および業界のセミナーに関する旅費その他の現金支払費用について償還を受ける。

6. 投資取引

2022年9月30日に終了した年度について、投資の購入額および売却額(現物による取引および短期投資を除く。)は以下のとおりであった。

| | 購入 | 売却 |
|-----------------------|----------------|----------------|
| SPDR ユーロ・ストックス 50 ETF | \$ 153,685,707 | \$ 161,026,842 |

2022年9月30日に終了した年度について、現物による拋出、現物による償還、現物による正味実現利益/(損失)の額は、以下のとおりであった。

| | 現物による拋 出 | 現物による償 還 | 現物による正 味実現利益/(損 失) |
|-----------------------|----------------|----------------|--------------------------|
| SPDR ユーロ・ストックス 50 ETF | \$ 196,369,610 | \$ 875,969,539 | \$ 122,716,976 |

7. 受益者の取引

各本ファンドは、特定の数の口数またはその倍数(以下「クリエイション・ユニット」という。)によってのみ、NAV で、各本ファンドの受益権を発行および償還する。総数がクリエイション・ユニットとならない限り、各本ファンドの受益権は償還できない。各本ファンドの資本受益権の取引は、純資産変動計算書で詳細に開示されている。

本ファンドのクリエイション・ユニットの購入対価は、所定の有価証券のポートフォリオの現物での拋出および所定の額の現金によって構成されることがある。クリエイション・ユニットを購入および償還する投資家は、クリエイション・ユニット(現金を対価とするクリエイション・ユニットを含む。)の発行および償還に伴う名義書換費用およびその他の取引費用と相殺するために、購入取引手数料および償還取引手数料を本トラストおよび/または保管会社に直接支払うことができる。追加の変動手数料が、一定の取引について請求されることがある。当該変動手数料(もしあれば)は、純資産変動計算書上の「その他資本」に含まれる。

8. 所得税の情報

本ファンドは、内国歳入法典のサブチャプターMにおける「規制投資会社」の要件を満たしており、今後とも要件を満たすことを想定している。本ファンドは、各会計年度に係る課税所得(正味実現キャピタルゲインを含む。)を分配する限り、連邦所得税の対象とはならない。したがって、連邦所得税の引当金は必要がない。

本ファンドは、連邦税ならびに様々な州税および地方税の申告書を必要に応じて提出する。現在のところ、税務調査を受けている所得税の申告書はない。一般的に、連邦税の申告書は、提出日から3年間の期間にわ

たって内国歳入庁による調査の対象となるが、州税の申告書の調査対象期間は、管轄地によってさらに1年間追加されることがある。SSGA FM は、全ての調査対象期間に係る申告書に対する各本ファンドの税務上のポジションを分析し、租税債務の認識を必要とするような不確実な税務上のポジションが存在しないと判断している。

受益者への分配は、権利落ち日に計上される。収益配当金およびキャピタルゲインの分配は、所得税のルールおよび規則に従って決定されるが、これは米国で一般に認められた会計原則とは相違する可能性がある。

財務書類中の一定の資本勘定は、帳簿と税務との永久差異に合わせて調整された。これらの調整による純資産価額または運用成果への影響はない。帳簿と税務との一時差異は、将来解消される。これらの帳簿と税務との差異は、主に、分配の性格、非課税配当金所得調整、外国為替損益、外国のキャピタルゲイン税、現物取引、先物取引、コーポレート・アクション、受動的外国投資企業、当期利益を超える分配、ウォッシュ・セールスの損失繰延べおよびパートナーシップ・ベース調整に関する処理の違いによるものである。

2022年9月30日に終了した年度に支払われた分配金の税務上の性質は、以下のとおりであった。

| | 通常 所得 | 長期 キャピタルゲ イン | 合計 |
|-----------------------|---------------|--------------------|---------------|
| SPDR ユーロ・ストックス 50 ETF | \$ 73,669,991 | \$ - | \$ 73,669,991 |

2021年9月30日に終了した年度に支払われた分配金の税務上の性質は、以下のとおりであった。

| | 通常 所得 | 長期 キャピタルゲ イン | 合計 |
|-----------------------|---------------|--------------------|---------------|
| SPDR ユーロ・ストックス 50 ETF | \$ 49,313,836 | \$ - | \$ 49,313,836 |

2022年9月30日現在、課税基準による分配可能利益の構成要素は以下のとおりであった。

| | 未分配 通常 所得 | 繰越キャピタ ルロス | 未分配 長期 キャピタ ルゲイン | 未実現純 利益(損失) | 合計 |
|-----------------------|-----------------|------------------|---------------------------|------------------|--------------------|
| SPDR ユーロ・ストックス 50 ETF | \$ 2,524,527 | \$ (701,148,241) | \$ - | \$ (514,514,153) | \$ (1,213,137,867) |

2022年9月30日現在、以下の本ファンドには、将来の実現キャピタルゲインと相殺するために使用できるキャピタルロス繰越金が存在した。

| | 繰越期限 なし 短期 | 繰越期限 なし 長期 |
|-----------------------|------------------|------------------|
| SPDR ユーロ・ストックス 50 ETF | \$ 67,240,572 | \$ 633,907,669 |

2022年9月30日現在、連邦所得税上の原価に基づく投資およびその他の金融商品の未実現評価益および未実現評価損の総額は、以下のとおりであった。

| | 所得税上の 原価 | 未実現 増価総額 | 未実現 減価総額 | 正味未実現 増価 (減価) |
|----------------------|------------------|---------------|----------------|---------------------|
| SPDR ユーロ・ストック 50 ETF | \$ 1,802,386,858 | \$ 18,090,272 | \$ 531,315,191 | \$ (513,224,919) |

9. 証券の貸付

各本ファンドは、適格なブローカー・ディーラーまたは機関投資家に証券を貸し付けることができる。貸付については、貸し付けた証券の相場以上の額に、日々決定され、適宜調整される経過利息および配当を加えた額に相当する現金、現金同等物または米国政府債により常に担保される。貸し付けた証券に係る担保の額は、証券の価格の市場変動により、一時的に証券価格を上回ることも、下回ることもある。各貸付に関して、ある米国の営業日において、証券担保の市場価格の総額に現金担保を加えた総額が、貸付の対象となる証券の市場価格の総額を下回る場合には、借入人は、翌営業日に追加担保の提供を通知される。

本ファンドは、一定の受益権を行使するために、貸し付けた証券の登録上の所有権を回復するが、借入人が財務的に破綻した場合には、貸し付けた証券の回収が遅れるリスクを負い、当該証券に対する権利を失う可能性すらある。また、本ファンドは、投資することのある現金担保を失うリスクを負う。本ファンドは、担保として保有する現金、現金同等物または米国政府債について生じた利息または配当から、借入人に支払った手数料の割り戻しおよび貸付代理人のステート・ストリートに支払った手数料が控除された後に、証券貸付の報酬を受領する。さらに、本ファンドは、貸し付けた証券の市場価格の割合に相当する現金以外の担保について、借入人から手数料を受け取る。

2022年9月30日時点における貸し付けた証券の市場価格および投資した現金担保の額は、本ファンドの貸借対照表で開示されている。現金以外の担保は、貸付代理人により本ファンドに代わり保有されているため、本ファンドの貸借対照表では開示されておらず、本ファンドはそれらの証券を再度担保に供することはできない。証券貸付収入は、本ファンドの損益計算書で開示されたとおり、現金以外の担保および現金担保の投資による収入(借入人に支払われた払戻手数料および貸付代理人であるステート・ストリートに支払われた手数料控除後)を示している。

2022年9月30日現在の、各本ファンドの証券貸付約定ならびに関連する現金担保および現金以外の担保の概要は、以下のとおりであった。

| ファンド | 貸付証券の 市場価格 | 受入現金担保 | 受入非現金担保 | 受入担保合計 |
|----------------------|---------------|---------------|---------|---------------|
| SPDR ユーロ・ストック 50 ETF | \$ 10,823,482 | \$ 11,059,238 | \$ - | \$ 11,059,238 |

| ファンド | 有価証券 貸付取引 | 2022年9月30日現在の本件契約の残存期間 | | | | 借入合計 | 有価証券 貸付取引 において 認識され た負債の 総額 |
|----------------------|--------------|--------------------------|-----------|--------------|----------|---------------|--|
| | | オーバー ナイト および継 続 | 30日未 満 | 30日か ら90日 | 90日 超 | | |
| SPDR ユーロ・ストック 50 ETF | 普通株式 | \$ 11,059,238 | \$ - | \$ - | \$ - | \$ 11,059,238 | \$ 11,059,238 |

10. クレジットライン[中略]

11. リスク

集中リスク

本ファンドが自らの資産の多くの割合を同一の国、州、地域、通貨または経済セクターに属する発行体の債務に投資することができることの結果として、経済、ビジネスまたは政治の悪化が本ファンドの投資の価値に対して、本ファンドがより広く分散されている場合よりも強く影響することがある。

外国および新興国市場のリスク

外国市場への投資には、米国での投資に通常伴わないリスクと考慮事項が伴う。外国の有価証券は、本ファンドが投資する国における政府の規制、経済、政治および社会の不安定性を原因とする損失のリスクにさらされることがある。外国市場は、米国での投資と比べて流動性が低いことがあり、為替変動のリスクにさらされることがある。本ファンドが新興国市場に所在する発行体の有価証券に投資する限りにおいて、これらのリスクはさらに顕著なものになることがある。

信用リスク

各本ファンドは、発行体もしくは保証人が履行を怠った場合、または本ファンドとの間で未決済もしくは未完了の取引を有する機関もしくは事業体が債務不履行に陥った場合、信用リスクにさらされる可能性がある。

市場リスク

本ファンドが保有する投資の市場価格は、急激にまたは予期せずに変動する可能性がある。本ファンドの投資は、通常の経済状況の変化、通常の市場変動および証券市場への投資に内在するリスクによる影響を免れない。投資市場は激しく変動する場合があります。また、投資価格も様々な要因(景気拡大または後退、金利変動、インフレ、発行体の実際のまたは認知された信用力の変動、および通常の市場流動性を含むがこれらに限定されない。)に起因して大きく変動する場合があります。全般的な経済状況には変化がないとしても、本ファンドが投資する特定の産業、セクターまたは企業が低調な業績の場合やイベントにより悪影響を受ける場合、本ファンドの投資の価値が低下する可能性がある。さらに、法律、政治、規制および税に関する変更により、市場価格および証券価格が変動する可能性もある。国内的、地域的または世界的なイベント(例えば、戦争、軍事衝突、テロ行為、自然災害、感染症の蔓延やその他の公衆衛生上の問題などのイベント)は、本ファンドとその投資に重大な影響を及ぼす恐れがある。

2019年12月に中国で最初に確認された新型コロナウイルスを原因とする呼吸器疾患(通称 COVID-19)が大流行し、世界中に広がった。COVID-19の感染拡大の影響を抑止・軽減するための組織的な試みとして、各

国政府と企業は、国境の閉鎖、国外および国内旅行の制限、さらには長期にわたる大規模な隔離検疫の義務化といった積極的な対策を世界中で実施し、そうした対策は今後も続く可能性がある。COVID-19 は、医療サービスおよびプロセスの実施における混乱と遅延、組織的イベントおよび教育機関の中止、生産およびサプライチェーンの混乱、特定の財およびサービスへの消費者の需要の減少、ならびに様々な懸念および不確実性を引き起こし、これら全てが世界中の市場でボラティリティを上昇させる要因となったが、こうした状況は今後も続く可能性がある。COVID-19 の影響は特定のセクターおよび産業においてより顕著に表れる可能性が高く、それらのセクターまたは産業への本ファンドの投資の価値にも悪影響が生じる可能性がある。COVID-19 および将来起こり得るその他のエピソードやパンデミックは、現時点では予想もできないような形で、多くの国の経済、世界経済、個々の企業および資本市場に悪影響を及ぼす可能性がある。また、発展途上または新興市場国では医療資源が限られていることから感染症の影響をより大きく受ける可能性もある。COVID-19 が引き起こす政治的、経済的および社会的ストレスは、特定の国においてその他の既存の政治的、社会的および経済的リスクを悪化させる可能性もある。COVID-19 およびその影響がどの程度の期間続くかは現時点で判断できないが、その影響は長期に及ぶ可能性がある。

ロシア制裁リスク

ロシア、ロシア企業またはロシアの個人に対し、米国、EUおよび英国を含む複数の国や地域が示唆したまたは科した制裁ならびに既に実施されているまたは将来実施される可能性のあるその他の政府間措置は、ロシア通貨の価値の切り下げ、ロシアの信用格付けの格下げ、ロシアの資産の即時凍結、ロシアの有価証券、不動産もしくは利権の価値および流動性の低下、ならびに／またはロシア経済もしくは本ファンドへのその他の悪影響をもたらす可能性がある。特定の時期に実施される制裁の範囲および規模は、本ファンドへ悪影響を及ぼす形で拡大または修正される可能性がある。制裁、または新たなもしくは修正された制裁の示唆により、一定の影響を受ける有価証券またはその他の投資商品の取得、売却、保有、受渡し、引渡しまたは取引に関する本ファンドの遂行能力が損なわれる可能性がある。また、制裁の結果、ロシアも対抗措置やその他の対応策を講じることが考えられ、ロシアの有価証券の価値および流動性はさらに悪化するかもしれない。これらの制裁およびその結果生じるロシア経済の混乱は、その他の地域および世界の市場においてボラティリティを引き起こし、他国の様々なセクターおよび産業ならびに企業のパフォーマンスに悪影響を及ぼす可能性があるため、たとえ本ファンドがロシアの発行体の有価証券に対する直接的なエクスポージャーを有してしないとしても本ファンドのパフォーマンスに悪影響が生じる恐れがある。制裁の実施、ロシア政府の対抗措置、およびそれらがロシアの有価証券の流通市場に及ぼした影響の総合的な結果として、特定の本ファンドは特定のロシアの有価証券を評価するため本ファンドの受託者が承認する公正価値評価手続を利用しておりまた将来利用する可能性もあるが、それにより当該有価証券の価値はゼロとみなされる恐れがある。制裁および関連措置に伴い特定の本ファンドの保有資産の流動性が低下することで、本ファンドは純資産総額(NAV)に対するプレミアムもしくはディスカウントの拡大、および／またはビッド・アスク・スプレッドの拡大を体験する可能性がある。さらに、制裁の対象となるもしくは制裁の影響を受ける有価証券を本ファンドが保有することが不可能もしくは違法になった場合、または本ファンドの投資アドバイザーが適切とみなす場合、本ファンドは設定取引に関して制裁の影響を受ける有価証券の現物預託を禁止し、代わりに現金預託を要求する可能性があり、それにより本ファンドの取引費用が増加する可能性もある。

12. 受益権分割[中略]

13. 後発事象

経営陣は、財務書類の公表日までに本ファンドに生じた全ての後発事象の影響を評価したところ、財務書類の調整を必要とするか、または財務書類において開示を必要とする後発事象は存在しないと判断した。

SPDRインデックス・シェアズ・ファンズ
独立した登録公認会計士事務所の報告書
2022年9月30日

SPDR ユーロ・ストック 50 ETF[中略]²の受益者および SPDR インデックス・シェア・ファンズの受託者会
 御中

財務書類に対する意見

当職らは、SPDR インデックス・シェアズ・ファンズ(以下「本トラスト」という。)を構成する 16 のファン
 ドである、SPDR ユーロ・ストック 50 ETF[中略]³(以下「本ファンド」と総称する。)の 2022 年 9 月 30 日
 現在の貸借対照表(投資一覧を含む。)、以下の表の各対象期間の関連する損益計算書、純資産変動計算書、
 財務ハイライト、およびそれらの関連注記(以下「財務書類」と総称する。)を監査した。当職らの意見で
 は、財務書類は、2022 年 9 月 30 日現在の各本ファンド(SPDR インデックス・シェアズ・ファンズを構成す
 る 16 のファンド)の財政状態、以下の表の各対象期間の各本ファンドの業績、純資産の変動および財務ハイ
 ライトを、米国で一般に公正妥当と認められた会計原則に従って、全ての重大な点で公正に表している。

| SPDR®インデックス・シェアズ・ファンズを構成 する個別ファンド | 損益計算書 | 純資産変動計算 書 | 財務ハイライト |
|--------------------------------------|-------------------------------|--|---|
| SPDR ユーロ・ストック 50 ETF | 2022 年 9 月 30 日に終了 した年度 | 2022 年 9 月 30 日に終了 した 2 年間の 各年度 | 2022 年 1 月 11 日(運用開始日) ~2022 年 9 月 30 日の期間 |

2019 年 10 月 1 日より前に終了した期間の財務ハイライトは別の独立登録公認会計士事務所に監査されたが、
 同公認会計士事務所の 2019 年 11 月 26 日付報告書では、当該財務ハイライトに関して無限定適正意見が表明
 された。

意見の根拠

当該財務書類については、本トラストの経営陣が責任を負う。当職らの責任は、本ファンドの財務書類につ
 いて、当職らによる監査に基づいて意見を表明することである。当職らは、米国公開会社会計監視委員会
 (以下「PCAOB」という。)に登録された公認会計士事務所であり、米国連邦証券法ならびに証券取引委員会お
 よびPCAOBの適用ルールと規則に従い本トラストに対して独立の立場でなければならない。

当職らは、PCAOBの基準に従って監査を実施した。当該基準により、財務書類に重要な不実表示(誤謬また
 は不正によるかを問わない。)がないことに関して合理的な確信を得るために監査を計画し、実施すること
 を求められている。本トラストは財務報告に対する本トラストの内部統制の監査を受ける義務はなく、また、

² 本ファンド以外のファンド名は省略する。

³ 本ファンド以外のファンド名は省略する。

当職らが同監査を実施することもない。当職らは、監査の一環として、財務報告に対する内部統制を把握する必要があるが、これは、財務報告に対する本トラストの内部統制の有効性に関する意見の表明を目的とするものではない。したがって、当職らがそうした意見を表明することはない。

監査には、財務書類における重要な不実表示(誤謬または不正によるかを問わない。)のリスクを評価する手続の実施および当該リスクに対処するための手続の実施が含まれる。こうした手続には、財務書類の金額および開示内容を裏付ける証拠の検証(試査ベース)が含まれる。当職らの手続には、保管会社、ブローカーおよびその他の者とのやり取りにより2022年9月30日現在所有されている有価証券を確認する作業が含まれ、ブローカーおよびその他の者からの返答がない場合にはその他の監査手続を実施した。また、当職らの監査には、使用した会計原則および経営陣による重要な見積りの評価、ならびに財務書類の表示全体の評価も含まれる。当職らは、当職らの監査が当職らの意見についての合理的な根拠を提供すると考えている。

アーンスト・アンド・ヤング・エルエルピー

当職らは、2000年以降、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズの1つ以上の投資会社の監査人を務めてきた。

マサチューセッツ州ボストン

2022年11月23日

SPDRインデックス・シェアズ・ファンズ

その他の情報(未監査)

2022年9月30日

費用の例

受益者は、本ファンドの受益者として、(1)購入時の支払い、配当金の再投資またはその他の分売にかかる販売手数料(もしあれば)を含む取引費用、ならびに(2)投資顧問報酬を含む継続的費用の2種類の費用ならびにその他の本ファンドの費用を負担する。この例は、本ファンドへの投資にかかる継続的費用(ドル建て)を理解し、他のミューチュアル・ファンドへの投資にかかる継続的費用と比較できるようにするためのものである。示されている期間の期首に1,000ドル(134,320円)を投資し、2022年4月1日から9月30日までの全期間にわたって保有したという前提に立っている。

以下の表は、受益者の本ファンドの費用を次の2つの形で示している。

ファンド実際リターン基準 - 本セクションは、受益者が当該期間にわたって支払った実際の費用を見積もるために有用である。示されている「期末アカウントの価額」は、各本ファンドの実際のリターンから得た値であり、三番目の列は、各本ファンドへの投資を1,000ドル(134,320円)で始めた投資家が支払うこととなった金額を示す。この情報および投資額を使って、当該期間中に支払った費用を見積もることができる。そのためには、アカウントの価額を1,000ドル(134,320円)で除し(例えば、8,600ドル(1,155,152円)のアカウントの価額÷1,000ドル(134,320円)=8.6)、その額に、本ファンドの「当該期間中に支払った費用」の項目の数字を乗じるだけである。

仮定リターン率 5%基準 - 本セクションは、受益者の本ファンドの費用を他のミューチュアル・ファンドの費用と比較するのに有用となることを意図したものである。ここでは、本ファンドの費用控除前の年率のリターン率は5%であったが、費用割合は変わらないことを仮定している。使用されているリターンは本ファンドの実際のリターンではないため、結果は、受益者の投資には当てはまらない。本例は、米国証券取引委員会(以下「SEC」という。)が5%のリターンに基づいて費用を算出することを全てのミューチュアル・ファンドに義務付けているため比較に有益である。この仮定例を他のファンドの受益者宛報告書に記載されている仮定例と比較することで本ファンドの費用を評価することができる。

表に記載された費用は、継続的費用のみを強調するもので、販売手数料等の取引費用は反映していない。したがって、表の仮定リターン率5%のセクションは、継続的費用のみを比較するのに有用であって、保有している別個のファンドの費用総額を判断するのに有用なものではない。さらに、こうした取引費用が含まれる場合には、費用はさらに増える。

| | 年率 費用率 | 実際 | | FEZ 仮定(費用控除前の年率のリターン率が5% と仮定) | |
|-----------------------|-----------|--|--------------------|--|------------------------|
| | | 期末ア カ ウ ン ト の 価 額 | 当該期間に 支払った費用(a) | 期末ア カ ウ ン ト の 価 額 | 当該期間に 支払った 費用(a) |
| SPDR ユーロ・ストックス 50 ETF | 0.30% | \$ 766.70 | \$ 1.33 | \$ 1,023.60 | \$ 1.52 |

(a) 費用は、本ファンドの年率の純費用率に、当該期間のアカウントの平均価額を乗じ、さらに183を乗じた額を、365で除して得た額である。

租税に関する情報

連邦所得税の目的のため、以下の情報は、2022年9月30日に終了した会計年度の本トラスの分配に関して提供される。

受取配当控除

各本ファンドは、受取会社配当控除に関して、その純課税所得の最大許容額を適格と報告する。

適格受取配当

2022年9月30日に終了した会計年度中に本ファンドが分配した配当の一部は、適格受取配当とみなされ、軽減税率の適用を受けられる。各本ファンドは、その純課税所得の最大許容額を、2003年雇用および成長減税調整法で定める適格受取配当として報告する。

適格事業所得控除

各本ファンドは、REITの適格配当のうち、第199A条に基づき適格事業所得控除が適用される最大許容額を報告する。

適格受取利息

各本ファンドは、その純課税所得および短期キャピタルゲインの最大許容額を適格受取利息として報告する。

議決権の代理行使に関する方針および手続ならびに記録

本トラスの議決権の代理行使に関する方針および本ファンドの投資顧問が本ファンドの証券ポートフォリオに関して議決権の代理行使を行うのに用いる手続に関する説明は、(i)無料で、1-866-787-2257(通話料無料)に電話して請求するか、または(ii)SECのウェブサイト(www.sec.gov)で入手することができる。

本ファンドが6月30日に終了した12カ月間にどのように議決権を行使したかについては、各年の8月31日までに上記と同じ電話番号またはSECのウェブサイト(www.sec.gov)および本ファンドのウェブサイト(<https://www.ssga.com/spdrs>)で入手可能である。

受益者集会の結果

2022年10月20日、SPDR インデックス・シェアズ・ファンズの特設受益者集会(以下「受益者集会」という。)が開催された。受益者集会の目的は受託者の選任について受益者の承認を得ることであった。受益者集会において各本ファンドの受益者は受託者の選任を承認した。投票の結果は以下のとおりである。

| 受託者候補者 | 賛成票 | 留保票 |
|-------------------|-----------------|---------------|
| Clare S. Richer | 458,963,922.211 | 3,805,311.071 |
| Sandra G. Sponem | 458,912,867.553 | 3,856,365.729 |
| Kristi L. Rowsell | 459,030,936.405 | 3,738,296.877 |
| Gunjan Chauhan | 458,827,846.171 | 3,941,387.111 |
| Carolyn M. Clancy | 459,042,164.143 | 3,727,069.139 |

四半期ポートフォリオ一覧

本ファンドの第1四半期および第3四半期終了後、完全な投資の一覧表がフォームN-PORTの付表としてSECに提出される。これは、本ファンドのウェブサイト(<https://www.ssga.com/spdrs>)およびSECのウェブサイト(www.sec.gov)で入手可能である。本ファンドの投資一覧表は、電話(1-866-787-2257(通話料無料))で要請すれば無料で入手できる。

投資顧問契約の承認

2022年9月30日より前に開催された会議において、本トラスの受託者会(以下「受託者会」という。)は、本トラスのシリーズ(以下「SPDR ETF」と総称する。)についての本トラスとSSGA Funds Management, Inc.(以下「アドバイザー」または「SSGA FM」という。)との間の投資顧問契約(以下「本件契約」という。)の継続に関する議案を検討した。また、1940年投資会社法(改正を含む。)で定義される「関係者」ではない本トラスの受託者(以下「独立受託者」という。)は、本件契約を検討するために別途会議を行った。独立受託者は、当該プロセスの間、自身の独立法律顧問の助言を受けた。

本件契約を検討するにあたって、受託者会は、受託者会が法律顧問の助言に従い合理的に必要と判断した資料を請求し、本トラスの投資アドバイザーおよびアドミニストレーターを務めるSSGA FMならびに本ト

ラストのサブ・アドミニストレーター、名義書換代理人および保管会社を務めるステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー(以下「ステート・ストリート」という。)がそれらの資料を提供した。本件契約の承認の是非の決定において、受託者会は、下記を含む様々な要素を検討した。

- (i) 本件契約に基づき SPDR ETF に関してアドバイザーが提供したサービスの性質、範囲および質
- (ii) SPDR ETF の投資パフォーマンス
- (iii) アドバイザーおよびその関係会社が本トラストの関係から実現した利益
- (iv) 類似ファンドに対して請求した報酬額
- (v) アドバイザーに対するその他の便益
- (vi) SPDR ETF が成長した場合に共有される規模の経済の範囲

サービスの性質、範囲および質

受託者会は、アドバイザーが提供したサービスの性質、範囲および質を検討した。その際、受託者会は、本トラストの過去の経験、ならびに会議前および会議中に、提供された資料に依拠した。受託者会は、本件契約および各 SPDR ETF の投資業務の管理に関するアドバイザーの責任について、各 SPDR ETF の投資目的、投資方針、適用ある法律上および規制上の要件に従って検討した。受託者会は、上場投資信託としての各 SPDR ETF の性質、アドバイザーの上場投資信託の運用に関する経験および専門知識について評価した。受託者会は、アドバイザーの経営幹部(SPDR ETF のポートフォリオ運用および規制コンプライアンスを担当する個人を含む。)の経歴および経験について検討した。受託者会はまた、アドバイザーのポートフォリオ運用資源、構造および実務(各 SPDR ETF の投資目的と投資方針ならびに適用法令の遵守の監視および徹底に関連するものを含む。)についても検討した。さらに、受託者会は、アドバイザーの最良執行手続および投資運用業務全般に関する情報についても検討し、アドバイザーが広範にわたる種類の資産について幅広い顧客にサービスを提供していることに注目した。受託者会は、アドバイザーの投資運用業務に関する一般的な知識およびステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(幹部役職員の全てがアドバイザーと同じである。)を構成する関係会社の一般的な知識を調査した。受託者会は、アドバイザーおよびその関係会社が、インデックス商品全般、特に上場投資信託について、世界最大の投資運用会社の1つであることを考慮した。受託者会は、指数ベースの投資目的を有する株式上場投資信託の運用に関するアドバイザーの経験について具体的に検討した。

投資パフォーマンス

受託者会は、SPDR ETF のパフォーマンスを検討し、各 SPDR ETF の独特な指数投資目標によって、投資パフォーマンス(絶対値)の分析については、アクティブ運用されるファンドよりも、優先順位が劣ることに注目した。受託者会は、各 SPDR ETF がパッシブ運用される指数ファンドとしての目的を達成できる範囲を重視し、当該 SPDR ETF の指数トラッキングに関する情報を検討した。

アドバイザーが実現した利益

受託者会は、SPDR ETF の投資顧問契約について、アドバイザーおよびその関係会社にとっての利益を検討

した(これらの事業体にとっての SPDR ETF の過去の利益に関するデータを含む。)。受託者会(独立受託者を含む。)は、自身の独立法律顧問と共に、アドバイザーおよびステート・ストリートの代表者との間で、利益計算の基準となる費用を計算する際に用いた手法について協議する機会を持った。

類似ファンドに対して請求した報酬額

受託者会は、類似するファンド(すなわち、株式指数に連動する上場投資信託)が支払った手数料に関する比較可能な情報の検討を通じて、各 SPDR ETF の均一の手数料を評価した。受託者会は、ブロードリッジ・フィナンシャル・ソリューションズ・インク(Broadridge Financial Solutions, Inc.)から独自に入手したデータおよび同様の上場投資信託に関する比較可能な情報に基づいて、各 SPDR ETF について同様の上場投資信託の領域を検討した。受託者会は、当該検討を行うに際して、データについてファンド毎の分析を利用した。受託者会によって適切とみなされた一部の事例において、受託者会は SPDR ETF の手数料と類似ファンドによって支払われた手数料の差異の理由を経営陣と共に調査した。

その他の便益

受託者会は、アドバイザーまたはその関係会社がそれ以外の方法により本トラストとの関係から便益を得られるか否かについても検討し、アドバイザーは、本トラストの株式委託売買に関係してソフトダラーの取り決めを維持していないことに注目した。

規模の経済

受託者会は、各 SPDR ETF の資産規模の成長に伴い生じる規模の経済またはその他の効率性に関する情報を精査した。受託者会は、各 SPDR ETF の投資顧問報酬料率が、SPDR ETF 資産の増加に伴うブレイクポイントを定めていないことに注目した。しかしながら、受託者会はさらに、比較的低い投資顧問報酬を設定し、報酬を低くすることの利益を運用開始時から SPDR ETF と効果的に共有することにより、SPDR ETF について(いくつかの要素の中でも)将来における規模の経済が斟酌されているというアドバイザーの主張に注目した。アドバイザーはまた、均一の手数料の1つの利点として、変動しない費用構造を提供することを主張したが、ブレイクポイントの追加によってこれが失われたり希釈化されたりする可能性がある。受託者会は、SPDR ETF の規模の成長に伴う手数料の監視を続け、費用のブレイクポイントを保証できるか否かを評価する。

結論

受託者会(個別に議決権を行使する独立受託者を含む。)は、前記の要素(その要素は、それ自体決定的ではなく、また、各受託者により異なる評価がなされる可能性もなかった。)について比較検討した上で、各 SPDR ETF に関する本件契約の継続を承認した。投資顧問契約の継続の承認にあたり、受託者会(個別に議決権を行使する独立受託者を含む。)は、本件契約の条件が公正かつ合理的であり、本件契約の継続が、該当する SPDR ETF およびその受益者にとっての最善の利益に適うものであることを認識した。当該要素に関する受託者会の結論は以下のとおりである。(a) SPDR ETF に関してアドバイザーが提供したサービスの性

質、範囲および品質は適切だった。(b) 各 SPDR ETF のパフォーマンス、および、より重要な点として指数トラッキングは十分なものであった、またはアドバイザーはアンダーパフォーマンスの是正に適宜細心の注意を払ってきた。(c) 各 SPDR ETF についてのアドバイザー統一手数料は、提供されたサービスおよび類似のファンドに課された手数料と比較して、合理的であった。(d) 本トラストのアドバイザーおよび関係会社との関係による利益は、提供されたサービスの性質、範囲および品質の観点から、過剰ではなかった。(e) アドバイザーまたはその関係会社の追加的な潜在的利益は受託者会の結論に重大な影響を及ぼす大きさではなかった。(f) アドバイザーに支払われた手数料は、本トラストの比較的低い手数料構造による SPDR ETF に関する規模の経済を適切に共有した。

受託者と役員の情報

| 氏名、住所および 生年月日 | ファンドに おける地位 | 在任期間およ び 在職期間 | 過去5年間の 主な職業 | 受託者が監督するファ ンド・コンプレックス に属すポートフォリオ 数† | 受託者の 兼職の状況 |
|--|-----------------------------|--|--|--|---|
| 独立受託者 | | | | | |
| DWIGHT D. CHURCHILL c/o SPDR Index Shares Funds One Iron Street Boston, MA 02210 1953年 | 独立受託 者、監査委 員会委員長 | 在任期間：無 制限 在職期間： 2010年4月以 降 | 自営コンサルタ ント(2010年以 降)、CFA インス ティテュート、 最高経営責任者 兼プレジデント (2014年6月～ 2015年1月) | 125 | アフィリエイテッ ド・マネージャー ズ・グループ・イ ンク(会長、ディレ クター兼監査委員 会委員長) |
| CARL G. VERBONCOEUR c/o SPDR Index Shares Funds One Iron Street Boston, MA 02210 1952年 | 独立受託 者、会長、 受託者会会 長 | 在任期間：無 制限 在職期間： 2010年4月以 降 | 自営コンサルタ ント(2009年以 降) | 125 | ザ・モトレー・ フル・ファン ズ・トラスト(受託 者) |
| CLARE S. RICHER c/o SPDR Index Shares Funds One Iron Street Boston, MA 02210 1958年 | 独立受託者 | 在任期間：無 制限 在職期間： 2018年7月以 降 | 元最高財務責任 者、パトナム・ インベストメン ツ・エルエル シー(2008年12 月～2017年5月) | 125 | プリンシパル・ ファイナンシャ ル・グループ(ディ レクター兼財務委 員会委員長)、ベイ ン・キャピタル・ スペシャルティ・ ファイナンス(ディ レクター)、ノート ルダム大学(受託 者)、パトナム・ア クイジション・ ファイナンシン グ・インク(ディレ クター)、パトナ ム・アクイジショ ン・ファイナンシ ング・エルエル シー(ディレク ター)、パトナム GP インク(ディレ クター)、パトナ ム・インベス ター・サービシ ズ・インク(ディレ クター)、パトナ ム・インベストメ ンツ・リミッテッ ド(ディレクター) |
| SANDRA G. SPONEM c/o SPDR Index Shares Funds One Iron Street Boston, MA 02210 1958年 | 独立受託者 | 在任期間：無 制限 在職期間： 2018年7月以 降 | 元最高財務責任 者、M.A.モーテ ンソン・カンパ ニーズ・インク (建設および不動 産会社)(2007年 2月～2017年4 | 125 | ライデックス・シ リーズ・ファン ズ、ライデック ス・ダイナミック ・ファンズ、ラ イデックス・バリ アブル・トラス |

月)

ト、グッゲンハイム・ファンズ・トラスト、グッゲンハイム・バリアブル・ファンズ・トラスト、グッゲンハイム・ストラテジー・ファンズ・トラスト、トランスペアレント・バリュー・トラスト、フィデューシャリー/クレイモア・エナジー・インフラストラクチャー・ファンド、グッゲンハイム・タクサブル・ミュニシパル・ボンド・アンド・インベストメント・グレード・デット・トラスト、グッゲンハイム・ストラテジック・オポチュニティーズ・ファンド、グッゲンハイム・エンハンスド・エクイティ・インカム・ファンド、グッゲンハイム・クレジット・アロケーション・ファンド、グッゲンハイム・エナジー・アンド・インカム・ファンド、グッゲンハイム・アクティブ・アロケーション・ファンド(受託者兼監査委員会委員長)

CAROLYN M.
CLANCY
c/o SPDR Index
Shares Funds
One Iron Street
Boston, MA 02210
1960 年

独立受託者

在任期間：無
制限
在職期間：
2022 年 10 月
以降

フィデリティ・インベストメンツ、戦略、分析および市場準備担当責任者、元エグゼクティブ・バイス・プレジデント
(2020 年 4 月～2021 年 6 月)、
フィデリティ・インベストメンツ、ブローカー・ディーラー・ビジネス担当責任者、エグゼクティブ・バイス・プレジ

125

アサンプション大学(受託者)、ビッグ・シスター・アソシエーション・オブ・グレート・ボストン(ディレクター)

| | | | | | |
|--|----------------|--|--|-----|---|
| | | | デント (2017年7月～ 2020年3月) | | |
| KRISTI L. ROWSELL c/o SPDR Index Shares Funds One Iron Street Boston, MA 02210 1966年 | 独立受託者 | 在任期間：無 制限 在職期間： 2022年10月 以降 | ハリス・アソシ エイツ、パート ナー兼プレジデ ント(2010年～ 2021年) | 125 | オークマーク・ ファンズ(受託 者)、米国投資信託 協会、理事会(メン バー)、ハビタッ ト・フォー・ ヒューマニティ・ シカゴ(ディレク ター) |
| 利害関係のある受託者 JAMES E. ROSS* c/o SPDR Index Shares Funds One Iron Street Boston, MA 02210 1965年 | 利害関係の ある受託者 | 在任期間：無 制限 在職期間：受 託者について は2010年4 月以降 | フュージョン・ アクイジショ ン・コープII、 非常勤会長(2020 年2月～現在)、 フュージョン・ アクイジショ ン・コープ、非 常勤会長(2020年 6月～2021年9 月)、SSGA ファ ンズ・マネジメ ント・インク、 元会長兼ディレ クター(2005年～ 2020年3月)、ス テート・スト リート・グロー バル・アドバイ ザーズ、元エグ ゼクティブ・バ イス・プレジデ ント(2012年～ 2020年3月)、ス テート・スト リート・グロー バル・アドバイ ザーズ・ファン ズ・ディストリ ビューターズ・ エルエルシー、 元最高経営責任 者兼マネー ジャー(2017年5 月～2020年3 月)、ステート・ ストリート・グ ローバル・マー ケッツ・エルエ ルシー、ディレ クター(2013年～ 2017年4月)、 SSGA ファン ズ・マネジメン ト・インク、プ レジデント(2005 年～2012年)、ス | 136 | The Select Sector SPDR Trust (2005 年11月～現在)、 SSGA SPDR ETFs ヨーロッパI ピー エルシー(ディレク ター)(2016年11月 ～2020年3月)、 SSGA SPDR ETFs ヨーロッパII ピー エルシー(ディレク ター)(2016年11月 ～2020年3月)、 ステート・スト リート・ナビゲー ター・セキュリ ティーズ・レン ディング・トラス ト(2016年7月～ 2020年3月)、 SSGA ファンズ (2014年1月～ 2020年3月)、ス テート・ストリー ト・インスティ テューショナル・ インベストメン ト・トラスト (2007年2月～ 2020年3月)、ス テート・ストリー ト・マスター・ ファンズ(2007年2 月～2020年3 月)、エルファン・ ファンズ(2016年7 月～2018年12月) |

| | | | | | |
|---|----------------|---|--|-----|---------------------------------|
| | | | テート・スト リート・グロー バル・アドバイ ザーズ、プリン シパル(2000年～ 2005年) | | |
| GUNJAN CHAUHAN** c/o SPDR Index Shares Funds One Iron Street Boston, MA 02210 1982年 | 利害関係の ある受託者 | 在任期間：無 制限 在職期間： 2022年10月 以降 | ステート・スト リート・グロー バル・アドバイ ザーズ、シニ ア・マネージン グ・ディレク ター(2018年4月 ～現在)、ステ ート・ストリー ト・グローバ ル・アドバイ ザーズ、マネー ジング・ディレ クター(2015年6 月～2018年3月) | 125 | ステート・スト リート ICAV(ディ レクター) |

† 受託者が監督するポートフォリオの数を決定するにあたって、「ファンド・コンプレックス」は、SSGAファンズ・マネジメント・インクが投資アドバイザーを務める登録投資会社から成り、これにはSPDRシリーズ・トラスト、SSGAアクティブ・トラストおよびSPDRインデックス・シェアズ・ファンズの各シリーズが含まれる。

* ロス(Ross)氏は、アドバイザーにおける以前の地位およびアドバイザーの関係会社における所有持分のために、利害関係のある受託者となっている。ロス氏は、過去にも、2005年11月から2009年12月まで、利害関係のある受託者であった。

** チョウハン(Chauhan)氏は、アドバイザーの関係会社に対する自身のポジションのために、利害関係のある受託者である。

役員

| 氏名、住所および 生年月日 | ファンドにおけ る地位 | 在任期間および 在職期間 | 過去5年間の主な職業 |
|---|---------------------------|---|--|
| ELLEN M. NEEDHAM SSGA Funds Management, Inc. One Iron Street Boston, MA 02210 1967年 | プレジデント | 在任期間：無制限 在職期間：2012 年10月以降 | SSGA ファンズ・マネジメント・インク、会長(2020年3月～現在)*、SSGA ファンズ・マネジメント・インク、プレジデントおよびディレクター(2001年～現在)*、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、シニア・マネージング・ディレクター(1992年～現在)*、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・ファンズ・ディストリビューターズ・エルエルシー、マネージャー(2017年5月～現在) |
| BRUCE S. ROSENBERG SSGA Funds Management, Inc. One Iron Street Boston, MA 02210 1961年 | 財務部長 | 在任期間：無制限 在職期間：2016 年2月以降 | ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズおよびSSGA ファンズ・マネジメント・インク、マネージング・ディレクター(2015年7月～現在)、クレディ・スイス、ディレクター(2008年4月～2015年7月) |
| ANN M. CARPENTER SSGA Funds Management, Inc. One Iron Street Boston, MA 02210 1966年 | バイス・プレ ジデント、財 務部長代理 | 在任期間：無制限 在職期間：2012 年8月以降 (バイス・プレジ デントに関して) 無制限 在職期間：2016 年2月以降(財務 部長代理に関し て) | SSGA ファンズ・マネジメント・インク、最高運営責任者(2005年4月～現在)*、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、マネージング・ディレクター(2005年4月～現在)* |
| MICHAEL P. RILEY SSGA Funds Management, Inc. One Iron Street Boston, MA 02210 1969年 | バイス・プレ ジデント | 在任期間：無制限 在職期間：2005 年2月以降 | ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、マネージング・ディレクター(2005年～現在)* |
| CHAD C. HALLETT SSGA Funds Management, Inc. One Iron Street Boston, MA 02210 1969年 | 財務部長代理 | 在任期間：無制限 在職期間：2016 年2月以降 | ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズおよびSSGA ファンズ・マネジメント・インク、バイス・プレジデント(2014年11月～現在) |
| DARLENE ANDERSON- VASQUEZ SSGA Funds Management, Inc. One Iron Street Boston, MA 02210 1968年 | 財務部長代理 | 在任期間：無制限 在職期間：2016 年11月以降 | ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズおよびSSGA ファンズ・マネジメント・インク、マネージング・ディレクター(2016年5月～現在)、ジョン・ハンコック・インベストメンツ、シニア・バイス・プレジデント、(2007年9月～2016年5月) |
| ARTHUR A. JENSEN SSGA Funds Management, Inc. 1600 Summer Street Stamford, CT 06905 1966年 | 財務部長代理 | 在任期間：無制限 在職期間：2017 年8月以降 | ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズおよびSSGA ファンズ・マネジメント・インク、バイス・プレジデント(2016年7月～現在)、GE アセット・マネジメント・インコーポレイテッド、ミューチュアル・ファンド・コントローラー(2011年4月～2016年7月) |

| | | | |
|--|---|-----------------------------|--|
| DAVID LANCASTER SSGA Funds Management, Inc. One Iron Street Boston, MA 02210 1971年 | 財務副部長 | 在任期間：無制限 在職期間：2020年11月以降 | ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズおよびSSGAファンズ・マネジメント・インク、バイス・プレジデント(2017年7月～現在)、ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー、バイス・プレジデント補佐(2011年11月～2017年7月) |
| RYAN HILL SSGA Funds Management, Inc. One Iron Street Boston, MA 02210 1982年 | 財務副部長 | 在任期間：無制限 在職期間：2022年5月以降 | ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズおよびSSGAファンズ・マネジメント・インク、バイス・プレジデント(2017年5月～現在)、ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー、バイス・プレジデント補佐(2014年5月～2017年5月) |
| JOHN BETTENCOURT SSGA Funds Management, Inc. One Iron Street Boston, MA 02210 1976年 | 財務副部長 | 在任期間：無制限 在職期間：2022年5月以降 | ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズおよびSSGAファンズ・マネジメント・インク、バイス・プレジデント(2020年3月～現在)、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、アシスタント・バイス・プレジデント(2007年6月～2020年3月) |
| BRIAN HARRIS SSGA Funds Management, Inc. One Iron Street Boston, MA 02210 1973年 | 最高コンプライアンス責任者、マネー・ロンダリング防止責任者、倫理規範コンプライアンス責任者 | 在任期間：無制限 在職期間：2013年11月以降 | ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズおよびSSGAファンズ・マネジメント・インク、マネージング・ディレクター(2013年6月～現在)* |
| SEAN O'MALLEY SSGA Funds Management, Inc. One Iron Street Boston, MA 02210 1969年 | 最高法務責任者 | 在任期間：無制限 在職期間：2019年8月以降 | ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、シニア・バイス・プレジデント兼デピュティ・ゼネラル・カウンセル(2013年11月～現在) |
| DAVID URMAN SSGA Funds Management, Inc. One Iron Street Boston, MA 02210 1985年 | 秘書役 | 在任期間：無制限 在職期間：2019年8月以降 | ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、バイス・プレジデント兼シニア・カウンセル(2019年4月～現在)、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、バイス・プレジデント兼カウンセル(2015年8月～2019年4月)、ロープス・アンド・グレイ LLP、アソシエイト(2012年11月～2015年8月) |
| DAVID BARR SSGA Funds Management, Inc. One Iron Street Boston, MA 02210 1974年 | 秘書役補佐 | 在任期間：無制限 在職期間：2020年11月以降 | ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、バイス・プレジデント兼シニア・カウンセル(2019年10月～現在)、イトン・バンス・コープ、バイス・プレジデント兼カウンセル(2010年10月～2019年10月) |

* 記載されている期間中、多くの役職を務め、多くの関係会社に勤務した。

本トラストの追加情報明細(SAI)は、本ファンドのディレクターについての追加情報を含んでおり、電話で請求することにより(1-866-787-2257)、無料で入手することができる。

SPDRシリーズ・トラスト

受託者

Gunjan Chauhan
Dwight D. Churchill
Carolyn M. Clancy
Clare S. Richer
James E. Ross
Kristi L. Rowsell
Sandra G. Sponem
Carl G. Verboncoeur, Chairman

投資顧問およびアドミニストレーター

SSGA Funds Management, Inc.
One Iron Street
Boston, MA 02210

販売会社

State Street Global Advisors Funds Distributors, LLC
One Iron Street
Boston, MA 02210

保管会社、サブ・アドミニストレーターおよび名義書換代理人

State Street Bank and Trust Company
One Lincoln Street
Boston, MA 02111

法律顧問

Morgan, Lewis & Bockius LLP
1111 Pennsylvania Avenue, NW
Washington, DC 20004

独立した登録公認会計士事務所

Ernst & Young LLP
200 Clarendon Street
Boston, MA 02116

本報告書に含まれる情報は、本トラストの受益者への情報提供を目的としている。本報告書は、本トラストに関する重要な情報を含む本トラストの最新の目論見書が事前にまたは同時に提供されていない限り、投資を検討している人に配布することは認められていない。最新の目論見書および SAI は、1-866-787-2257 に電話して販売会社から入手することも、<https://www.ssga.com/spdrs> のサイトで入手することもできる。投資を行う前に目論見書を慎重にお読み頂きたい。